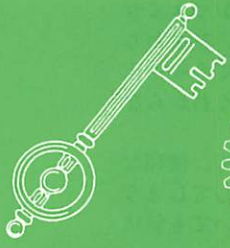


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 菊池昭元

No. 37 (1985~86)

あなたが 鍵です
You are the Key

1985~86年度

RI会長 エドワード F. カドマン

第182回例会 昭和61年3月25日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇ 出席報告

会員 51(55)名 出席 35名
出席率 62.96%
前回 3月18日 (修正出席率) 94.55%

◇ ビジター紹介 6名

◇ お誕生日祝福

青山君 (3/31)

◇ ニコボックス

水野 民也君 先週は星ヶ丘ボールをご利用頂き、有り難うございました。

菊池 昭元君 先週家族会には、星ヶ丘ボールさんに大変お世話になりました。又、息子が優勝させて頂きました。

池田 隆君 先日のボーリング大会、お疲れさまでした。

吉田 節美君 入会させて頂きました。

今後共、宜しくお願い致します。

成田 良治君 母の一周忌に松林寺の西村住職にお経を頂き、有り難うございました。

水野 賀統君 ゴルフ(藤岡C.C.)で4度目のイーグルを出しました。

西村 禎二君 今夕8時よりNHKテレビ特集にて雪の永平寺修行僧の生活を放映します。参考になると思います。是非見て下さい。

菅原 宣彦君 3月23日邦泳スイミング・スクール大府を開設致しました。宜しくお願いします。3月19日全国スイミングクラブ十社会の全国ゴルフ大会に参加し、川奈で優勝しました。

鈴木 猛君 お蔭様で無事退院致しました。

加藤 大豊君 西村さん、先日は供養有り難うございました。

木全 昭二君 ゴルフで久しぶりに80を出し、優勝させて頂きました。

杉山 貞男君 家族会で家内と娘が賞をいた

だき有り難うございました。

久保田 皓君 申しわけありませんが、本日早退させて頂きます。

青山 敏郎君 お誕生日祝い。

尾関 武弘君 結婚記念日祝い。

◇ 宮尾幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は2F橋の間に集り下さい。

2. 第271地区岩国中央RC(6/14)より認証状伝達式のご案内が来ております。参加希望の方は、事務局までお申し出下さい。

3. ロータリーの友3月号が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

4. 星ヶ丘スポーツより4月6日(日)特別滑走券をいただいておりますので、受付にてお持ち帰り下さい。

◇ 菊池会長挨拶

横縷不在の大相撲春場所も、関脇保志関の優勝を以って千秋楽となり、そして選抜高校野球、プロ野球、ゴルフ等々観る者にとっても好楽のシーズンとなって参りました。「暑さ寒さも彼岸まで」の諺も今年は通用しないのか、去る23日は台風並の前線が通過し名古屋方面は風雨が強く、関東方面では彼岸過ぎの寒さは観測史上3番目、雪が降ると言う事は史上初めてと言う大雪で、交通の大混乱を始め種々の災害が発生し、最悪の3連休の終末でありました。さて「梅は咲いたか桜はまだかいな」とは今頃の事でありましょうか。染井吉野の東海地方に於ける開花は、気象庁第一次発表では4月3日頃、その後、平年並の3月31日頃と訂正されましたが、桜の木の下に立ってみると開花間近かを思わせる様に、蕾も大部大きくなりました。桜の開花は種類によっても時期がずれ、まず彼岸桜、染井吉

野、山桜、遅れて八重桜の順に咲き、更に平地と山地では標高 200 ~ 300 m の差で 5 日程遅れます。桜を植物的に見ますと被子植物、双子葉類バラ科サクランボ属で、日本では古くから愛され、神話では木花咲耶姫（このはなさくや姫）が桜の象徴とされています。桜の別名は夢見草、あだな草（徒名草）、かざし草（挿頭草）などと言われ、俳句の季語としても初花、遅桜、花見、花吹雪など数々あります。染井吉野桜は天保年代初期の江戸染井村、現在の東京都豊島区駒込一帯が発祥の地とされていますが、原産地は伊豆天城山一帯で発見された物で、天保年代後期から明治初期に桜専門の植木師権兵衛が染井村の自分の植木だまりに持ち帰り、栽培普及させた物であると言う事です。世界の桜の名所としてはアメリカ、ワシントン市ポトマック公園、イギリスロンドン郊外キューガーデン、オランダアムステルダム、キューケンホフ公園、ベルギー、ブリュッセル郊外桜並木、そして東山植物園には吾々ロータリーアンが作り上げたロータリーヒルがあります。

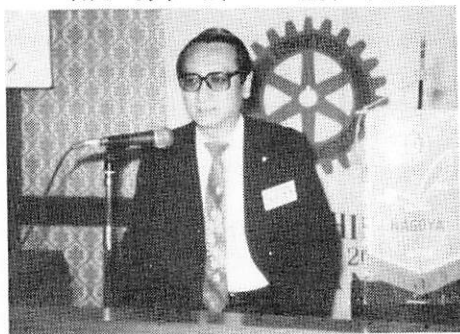
桜をこよなく愛した西行は「たぐひなき花をし枝に咲かすれば、桜に並ぶ木ぞなかりけり」と誉めたえています。諺にも「桜切る馬鹿梅切らぬ馬鹿」があります。お目でたい時に頂く桜湯は、そのほのかな香りと色合いに春が開きます。そして桜は幼児絵本の「花咲かじいさん」から江戸庶民に親しまれた遠山金さんの背中影の彫物「桜吹雪」まで、古くから愛され親しまれて来ました。現代も吾々の目を楽ませてくれる余りにも短かい花の命を惜しみ乍ら、人々は酒を交して親交を深めるのであります。今日は開花を前に桜について御紹介させて頂きました。

◇ 講演

“いけ花と美意識”

石田流華道会本部会長

石田 秀翠 氏 （紹介 武内君）



どうも近ごろは、風流ということからはずれた時代にあるようです。

先日も学校を出たてのお嬢さんたちに桃、

桜、梅の枝を見せたところ、区別が付きませんでした。しょうぶとかきつばた、ひまわりとダリアも同様です。野山を歩いても喫茶店へ入っても、草木の名前がかいもくわからないようです。

最近はどこかへ出かけるにしても、便利な交通機関を利用して目的地へ直行してしまうせいか、途中でどんな花が咲いていても気にとめることがありません。

この「気にとめる」ということが大切なことなのですが、現代では即効性のあるものが幅をきかせていて、ちょっと気をとめる余裕すら失われています。それだけに週一時間でも、水仙なら水仙と向き合って水仙を見、手で触れて生けてみるという、理屈ではない感性の世界にひたることは、とても大事だと思われれます。

生け花が室町時代以来七百年脈々と続き、今日では世界的に通じるものとなっていることを考えると、私どもは責任をもって新しい大和なでしこをつくりだしていかなければという気がまえています。

現在、生け花の人口は1千万人ほどです。女性の4人に1人は、なんらかのかたちで生け花を経験したことがあるということになります。デパートなどで展覧会をしますと、ヨーロッパの絵画などより人が入ります。

日本にこうした生け花が育ったことの土壌の一つに、花見があります。

外国には花の品評会がありますが、理屈抜きで花の下に集まるというようなことはないようです。

花見の原点は、春、村の長などが山の上へ登り、花の咲き具合を見て実りの吉兆を占ったということにあります。最近では花が咲いてそれが実になるということすら知らない若い人もいるようですが、花見は豊作を祈るまじないなものから出てきたわけです。いまは花の下で酔っ払って憂き晴しをするということになってしまったようですが、もともとは満開の花の下で豊作を祝うという儀式だったのです。

生け花が育ったもう一つの要素は仏教です。

おしゃかさまに因縁のある蓮の花は、泥の中に咲きます。そんなことは知っているとおっしゃるかもしれませんが、れんこんが蓮の下に出来るものだとすることを知らなかったり、枝豆と大豆が同じものだとすることも知らない人が多いようで、ついにはスイカは掘るのか採るのかなどと言いだすしまつでして(笑)

さて話をもどしますと、どろどろの泥の中から清らかな花が咲く、ぼんぼりから無垢が生まれるというところに妙があるわけです。

昔は風流でした。蓮の花がふくらんでいよいよ花が咲くという時にぼんと音がするというので、夜中の12時ごろに集まって、庵のもとでお酒を飲みながら蓮の咲くのを待っているというようなことがあったといえます。「風流一生涯」という言葉がありますが、汗水流して岩山に登って一服するとき、岩かげに咲く一輪の花を発見して「ああきれいだ」ところ洗われる、それが風流であって、風流というのはたいへん厳しいものなのです。そうして得たものが、こころの糧になるのです。

近ごろではさまざまな催事があって、宣伝も盛んですが、そのへんのイベントより花のほうが人を集める力が大きいようです。

奈良の長谷寺には、五月の連休前後の1週間ほどの間に30万人集まるそうです。なんの宣伝もしないのに、ただぼたんを見にくるためだけにそれほど人が集まるわけです。

いらっしゃった方もあるかと思いますが、愛知県の甚目寺に藤の棚があって、季節にはきれいな花を咲かせます。藤というのも風流でいいですね。上を見上げて風にゆれる花を見るというのは、モビールのようだと考えられます。

最近では化学薬品の香料がいたるところに席卷していて、梅の匂いをかぐこともなくなりました。旅行される時には、寺院の花の季節なども調べて、本物の花の香りも楽しんでこられるとよいかと思えます。

日本の寺院には、開祖が中国へ仏教の教えを乞いに行ったさい、大陸の植物を持ち帰って庭に植えて盛んにしたため、たくさんの花が咲きます。梅も菊もぼたんも中国から来たもので、残念なことに日本原産の花はあまりありません。

万葉集で歌われている花が、途中で梅から桜に変わったといわれますが、梅をめめた時代というのは奈良の都で、文化的には中国の植民地だったような時代であり、そこから京都へ移ってはじめて山桜をめめるようになるのです。

枕草子に、「いと青き瓶に桜の一枝いけたるがよし」という名文句があります。青き瓶というのは青磁のことで中国陶器を使っているわけですが、そこに梅でなく、日本の桜を生けたところに清少納言の気概があるわけです。

◇「私と私の家族」

大口 弘私 君

「お願いします。」「それでは始めましょう。」

昭和59年12月29日、ナタシオンラマスタの温水プールでのことだった。

その日、思いきって水泳をマスターしようと思ひ立った。

まずはバタ足から、そしてビート板を使っ



て50m……。その後、コーチがビートを取った。「次は、ビート板なしでどうぞ。ここまで来て下さい。」と数m先で待っている。

思えば今まで満足に泳いだことなどなかったのである。が、しばらくの沈黙の後、男の意地だけで、バシャーと身を投げ出したのだった。そして、新年より、1週間毎日連続してコーチを受け、ついにクロール25m完泳……。現在は、50mを泳ぐまでになった。そして、今、平泳ぎに挑戦中である。

かつては、子どもたちから、夏になると海やプールへつれて行くようせがまれても、あれやこれやと理由をつけては、逃げてばかりいたものだった。

ところが、昨年からは、家族揃ってたびたびプールへ出かける事が多くなった。

この写真も去年の夏、家族で出かけたプールでのスナップである。左が今年小学生に上がる二女聡子、右が今年小五になる長女雅代の4人家族である。

そして、今年は正月をハワイで過ごすまでになった。海やホテルのプールで十分泳ぎを堪能し、今も水泳パンツのあとがくっきり消えずに残っている。

78kgあった体重も現在は73kgに減り、どうやら、水泳が私の健康管理になくはならないものになっているのである。

第35回ゴルフ会成績

(三好 C.C. 3/13 (木))

RANK	NAME	OUT	IN	G	Hcp	NET
優勝	木全 昭二	42	47	89	19	70
準優勝	久保田 皓	39	42	81	11	70
3位	小林 明	44	47	91	19	72
4位	菅原 宣彦	49	43	92	20	72
5位	堀江 宏輝	42	45	87	14	73
B B	大口 弘和	51	56	107	22	85

(参加者 17名)

第13回夫人ゴルフ会成績

RANK	NAME	OUT	IN	G	Hcp	NET
優勝	安藤菜知子	65	65	130	46	84
2位	黒須アイ子	57	58	115	28	87
3位	成田真砂子	61	59	120	33	87

※次回のゴルフ会は、5月8日(木)きなげ C.C. で行いますので、奮ってご参加下さい。

開け広げた本のごとき周知の事実

人生の最初の40年は、私達にテキストを与えます；次の30年は、その注釈を与えてくれます。

—アーサー・ショーペンハウアー
ドイツの哲学者

手をさし伸べなければならぬ人

社会奉仕は、私達のクラブの最高の広報と言えます。入念に企画された奉仕プロジェクトは必ず所期の目的以上のものを達成します。なぜなら、プロジェクトは、地域社会の若い人にロータリーの重要さを広報するからです。この若い人達は、いつか私達のクラブに参加するよう要請されるかもしれません。私達が奉仕し続けるためには、若い人に手をさし伸べなければなりません。さらに、プロジェクトを完了するたびに、プロジェクトは、私達が何を成し遂げ、何をしていないかを示す目安となります。

(情報抄録より)

自分を描いてもらう

画家に、私達のクラブの各要素を盛り込んだ肖像画をかくよう依頼したとしたら、完成画はどのようにみえるでしょうか？ 多分、地域社会で何が必要か探すボブの目になるでしょうか？ 或は、会報用のニュースをかきまわるピートの鼻になるでしょうか？ ゲスト・スピーカーの話を熱心に聴くマイクの耳でしょうか？ あなたどのどの面が肖像画に含まれるでしょうか？ 忘れないで下さい。
あなたが鍵です。

(情報抄録より)

警告

栄養不良を知らせる、ロータリー・クラブの警告を見分けられることが大切です。この警告は：

1. 低い出席率(会員減少を伴うときもあります)
2. 退屈で視野の狭い、奉仕関係の議題
3. 会員の自発性の欠如
4. 食事に対する不満

クラブ例会で、これらの危険性に気づいたなら、クラブ奉仕の装を素早く投与して下さい。そして、他の同僚会員にも知らせて下さい。そうすれば、この人達も同じことをする



家を離れるときは必ず雑誌をお忘れなく！

でしょう。量が多すぎるなどと心配しないで下さい；クラブ奉仕の過剰投与などはありませんから。

(情報抄録より)

「米山功労法人」の件 「米山特別功労法人」

去る1月24日に開催しました理事会に於て、米山将学会への特別寄付に関し、従来の表彰制度に加えて「米山功労法人」と「米山特別功労法人」が新たに決まりましたので、お知らせ致します。

1. 米山功労法人

法人が所定の申込書により35万円の特別寄付をされたとき、「米山功労法人」として表彰状が贈られます。

表彰状は35万円ごとに何回でも贈られます。

この場合、個人としての「米山功労者」の表彰はありません。

2. 米山特別功労法人

法人からの特別寄付累計額が105万円(35万円3回)に達したとき、又は1度に100万円もしくはそれ以上の特別寄付をされたときに「米山特別功労法人」として表彰され、地区大会で表彰の楯が贈られます。表彰の楯の贈呈は、1度に100万円又は35万円を3回で105万円に達したとき、何回でも行われます。

尚、既に100万円の特別寄付で「米山功労者」として表彰を受けられた法人は、自動的に「米山特別功労法人」と称せられ、改めて楯が贈られます。

昭和61年4月1日から実施

◇3月度理事役員会議題

1. 新入会員候補者2名の件
2. 会長エレクトの件
3. 手島茂明君 退会の件
4. 小坂井盛雄君 病欠欠席の件

◇お知らせ

手島茂明君が転勤の為、3月11日付けで退会されました。

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋和合RC 4/9(水)F.S.M.の為、八事山興正寺にて18:00より
名古屋瑞穂RC 4/10(木)職場例会の為、熱田神宮会館にて12:30より
名古屋守山RC 4/12(土)春季家族会の為、中日劇場にて16:00より

◇次回例会(4月1日)

講演 “私の職業について”
会員 真下 勝利 君

◇次々回例会(4月8日)

講演 “尾張の殿様”
愛知学院教授

林 董一 先生

(紹介 武内君)